

### カンボジア赴任 これからの抱負

あけましておめでとうございます。

昨年11月より、大村久美子さんに代わりまして、カンボジア事務所で勤務することになりました中田好美です。タイのNGOで、先住民を対象としたリーダー(人材)育成活動を行った経験があります。タイとは隣接していますが、カンボジアは独自の歴史、社会、文化を持つ国です。現地の人と同じ目線で学び、生活し、よりよいプロジェクト活動を行っていきたいと思っています。

事務所は、首都プノンペンより車で3時間ほど行ったコンポントム州の州都にあります。国道はわりと交通が激しいのですが、ちょっとわき道に入ると、街中でも牛がのんびり草をはみ、鶏がけたたましく鳴いているといったような光景に出くわします。学校、病院や役所、大きな市場があるので、事務所周辺は人が多く、とてにぎやかです。

都市部や州都にいと、カンボジア社会もどんどん変わりつつあると実感するのですが、農村になればなるほど医療サービスへのアクセスが悪く、支援活動の必要性

を強く感じます。一方で、診療所スタッフや村人たちは親切で、学ぶ意欲があり、会議中에서도笑いが絶えません。一人でも多くの人を病気から守ることが私たちの使命ですが、同時に、現地診療所や村人と協同して行う保健医療支援を通じて、よりよい社会作りに貢献できたら、と思っています。また、日本から支援していただいている皆様に現地の状況をお伝えしたいと思っています。

どうかよろしく願いいたします。

(カンボジア所長 中田 好美)



### 巻頭言 / 国際画像診断援助にITの力を



ピープルズ・ホープ・ジャパン  
理事  
中島 康雄

聖マリアンナ医科大学放射線医学教授  
日本放射線科専門医会・医会 会長

先日シカゴで Asia Pacific American Forum という会議にパネラーとして出席した。日本、韓国、中国、インドの代表者と医療アクセスについてのパネルで各国事情が紹介された。Aging countryである日本、韓国と広大な国土を有し都市部と辺境との格差が著しい中国、インドとは全く話がかみ合わないことも多かったが改めてお国事情の違いを痛感した。中央にお金と権力が集中しそれが分配されていない2つのアジアの大国がまだまだ医療(画像診断機器)援助を他国に求めている姿を見て、国際社会で彼らが演じている政治的パフォーマンスとのギャップを感じ、むなしい気持ちを禁じえなかった。

今更言うまでもないが画像診断の進歩は著しく従来考えもしなかった画像診断が可能となり現代医療には不可欠なツールとなった。従って先端的な機器の整備に各国とも力を注ぎ、医療援助イコール医療機器援助という構図が生まれている。元来CTやMRIなどの画像診断はただむやみに

に撮影してもその有効性を発揮することは出来ない。しかし、一般には撮影さえすれば正しい情報が得られると勘違いしている方は多い。適切な撮像方法で画像を取得し適切に再構成し優れた診断医が読影することによってはじめて情報として価値が出て医療現場で成果を生む。画像診断機器のみの援助は従来から批判の多かった箱物援助と同一でそこに介入する人への援助が何より大切である。

ピープルズ・ホープ・ジャパンの活動はこの点を十分に理解したうえで海外研修生を日本に受け入れ、日本から講師を派遣し人への援助に力を注がれてきた。しかし、現実には援助した画像診断機器による診断精度の把握や画像診断技術の指導、機器のメンテナンス、利用方法の継続的なチェック、後継者の育成には難しい点が多い。幸い画像診断はITを利用することにより遠隔診断も可能であり種々の診断支援や教育など多くの人的援助を遠隔で行える道が開けてきた。すでに米国では夜の当直帯の画像診断はインドに送ってそちらで診断医が読影して救急に対応していると聞く。最初に書いたインドや中国でも格差解消への方策としてIT戦略が大きく取り上げられている。今後の国際画像診断援助は遠隔診断を有効に利用しながらお互いの継続的コミュニケーションの場としてもITネットワークを構築していくこと重要であると考え。

明けましておめでとうございます。

タイ事務所スタッフ一同、日ごろの皆さまのご支援に深く感謝申し上げます。昨年は、4月にNGO活動経験の豊富なKanda Suttanuntさんを迎え、タイ事務所にとって将来に向け更に大きく飛躍できる素地を築く年となりました。Faridaさんがカナダ・トロントの国際AIDS会議で発表した「青少年AIDS感染予防教育プログラム」が注目されたのもその成果の一つです。

年頭にあたり、支援を待つ人々への引き続きの暖かいご支援をお願いすると共に、皆さまのご健康をお祈り致します。  
(カントリーディレクター 大谷 暁子)



### ■ カンダ・スッタナート

タイでの支援活動成功の源は、恵まれぬ子供・お母さん・青少年や地域の人々の命を守りたいという皆さまの暖かいご支援に後押しされた私たちの熱意と奉仕の心であると考えています。私たちは地域の保健医療機関・学校・行政・NGOとも力をあわせ、懸命の活動を続けます。皆様のご支援をお願いいたします。

(タイオフィスマネジャー カンダ・スッタナート)



### ■ チャクビダ・スピチャン

HOPEパートナープログラム・スタッフ一同、このプログラムで医療教育支援を受けているこどもやお母さん達と共に、日ごろのご支援に深く感謝いたします。

今年もスタッフは、重い病気を持つ子供とお母さんたちと一緒に、彼らが一日も早く明るい笑顔のある健康生活を取り戻せることが出来るようなプログラムにすべく、知恵を出し合い懸命の努力を重ねます。皆さまもどうぞ子供達にそっと寄り添い、暖かい励ましを頂きますようお願いいたします。

(HOPEパートナー・プログラムマネジャー  
チャクビダ・スピチャン)



### ■ ファリダ・ランカファ

「HIV/AIDS感染予防教育プログラム」に携わるスタッフと啓発教育を受けている一同を代表し、皆さまの暖かいご支援に感謝いたします。

私達はこのプログラムでピア教育手法を手掛けて9年、内容に色々な工夫を加えながらユニークな草の根活動を展開して来ました。毎年の国際AIDS会議での活動成果報告でも関係者の大きな関心を寄せて頂いています。

活動開始10年を迎える来年には、保健・教育行政その他の支援を受け、今までの活動組織を発展的に拡大した「青少年AIDS感染予防教育センター」実現の夢に向けて活動を推進したいと思っています。

皆さまの引き続きのご支援をお願いいたします。

(プログラムマネジャー ファリダ・ランカファ)



## インドネシア

### 活動報告・現地スタッフ紹介

あけましておめでとうございます。インドネシアのスタッフと協力者を紹介します。

口腔衛生のリラさんは、2000年からPHJのスタッフとして仕事をしていて、非常に熱心で信頼できるスタッフです。私がジャカルタに拠点を移した後は、口腔衛生活動は彼女主導で行ってきました。その成果が認められ、2007年7月より(活動終了後)クルンクン郡立病院での勤務が決まっています。

スリ先生にはPHJは全面協力をいただいています。セラン保健局のスリ先生は、セラン郡での家族・地域医療分野での第一人者です。診療所の助産師さんたちから絶大な信頼を受け、家族・地域医療向上に力を注いでいます。  
(インドネシア所長 伊藤 美夏)



#### ■ Drg. Ni Luh Komang Sriasih Lilawati / 歯科衛生士 リラ

2000年からPHJが東バリ地区で実施してきた口腔衛生予防教育活動は、対象となっている小学校・幼稚園の児童・園児にはもちろんのこと、教員・保母・保護者などから非常に喜ばれています。現在においても、口腔分野の行政からの予算は非常に少なく、PHJからの支援はとても重要です。2007年7月に活動は各診療所・小学校へ移行される予定となっており、それまでは移行後の活動が少しでも円滑に行われるように教育活動リーダー養成に精一杯努力していくつもりです。

活動が現地移行された後も、PHJに定期的にモニタリングやアドバイスなどを行ってもらおうと現地側のやる気も継続すると思います。また、歯科従事者への教育などの活動は是非継続してもらいたいと東バリ歯科医師会では望んでいます。



#### ■ Dr. Hj. Sri Nurhayati / スリ先生

この2年半のあいだ、セラン保健局はPHJと共に5つの診療所にて母子健康・栄養改善活動に取り組んできました。PHJと協力することで、セラン保健局のみでは実現できない活動やセラン保健局が気づかない部分での活動が可能になりました。特に母子健康・栄養改善は各家庭・家族での意識の持ちよう・変化が非常に重要であり、そのためには地域が一体となって取り組んでいく必要があります。そのため2007年はカウンセリングを初めとした家庭をベースとした活動に重点を置いていきたいと考えています。もちろん、根本的な母子健康・栄養問題解決には「貧困・インフラ・教育」など高いハードルがあり、私たちの活動だけでは不十分です。しかし、私たちはまずできることから1つ1つ確実に実現し、ゆっくりと前進していきたいと思っています。今後もPHJの協力を期待しています。



## カンボジア

### 活動報告・現地スタッフ紹介

#### ■ Miech Phalla / ミ・パラ

新たにピープルズ・ホープ・ジャパン、カンボジア事務所働くことになりましたパラです。これまで村落開発の活動をしてきたなかで、健康の大切さやこの分野での開発支援の必要性を感じてきました。PHJカンボジアチームの一人として、コミュニティのためになる活動を目指します。



#### ■ Orm Ngot / オム・ンゴット

私はNgotと言います(日本語表記に変換しにくい名前です)。事務アシスタントとしてPHJで働くようになって、もうすぐ一年になります。PHJでは、事務に必要ないろいろな業務経験を積むことができるし、コミュニティの現状やニーズについて学び、直接支援できることが、とてもうれしいです。



### 前任者の挨拶

PHJ会員も皆さま、3年半、大変お世話になりました。特に、カンボジア駐在中は、立ち上げ事業でもあり、おかげでやりがいの在る仕事をさせていただきました。これまで頑張ることが出来たのも、皆さまの温かい応援があったからと、感謝しています。今後ともPHJの支援をよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。(大村 久美子)



## 会員のひろば



### “幻想”

横井 久(個人会員)

“過去、現在、未来の区別は、どんなに言い張っても、単なる幻想である”。アインシュタインのこの言葉に出会ったのは今世紀の初め頃だったと思う。

それ以来、この三つの言葉が時として脳裏を掠めるようになった。私は、これを単純に三つの言葉が存在するだけで区別出来ないと解釈した。

過去は現在と連なり、現在は未来に連なるから切れ目も無いように思える。また、“時の流れ”という意味で捉えようと、瞬時に言えども現在は止まらないし、“意識の流れ”で捕まえようとすると、過去も未来も飛び交って混乱してしまう。

60歳を過ぎてから、小学生時代の仲間と毎年集まるようになった。男女30~40人の集まりではあるが、戦中の話が弾み、食糧難や空襲の話題が飛び出す。闇夜の空を赤く染めて舞い降りる焼夷弾を花火のように語る仲間たちは国民学校六年生に生きている。

悲しみも喜びも幾年月である。歴史を眺めると、世

界は何時の時代も平和と悲惨が混在している。食や富に対する抗争に始まり、征服する側と征服される側に分かれる。対立は人種や民族、イデオロギーや宗教にまで広がっている。日中や日韓の関係は、世代を超えても相互にそのくびきを引き摺っている。鉄砲や刀を振り回して殺戮していた過去と違い、人類幸福の礎となるべき筈の科学の進捗ですら対立の道具に成り下がっている。遠い国々だった地域が交通や通信の手段で身近になった現在、誰もがこれらの実情から目をそむける事は出来ない。

未来の在りようは現在をベースにして想像してしまう。変化する地球環境や利害中心主義を押し出す世界秩序の混乱は止みそうに無い。100を超える地球上の国々が、静かで優しい国で居られるのは何時の事になるのか。せめて近隣国とはお互いに思いやりの在る付き合いをしたいものだと思う。平和を愛したアインシュタインが“幻想”と言い切ったものは一体何であったのだろうか。彼は、自分の人生を“時の一瞬”だと考えていたに違いない。“幻想をなくしてはいけない、もしなくしてしまったら、貴方は存在していても、生きるのをやめたも同然だ”と言うマーク・トウェンの言葉もある。

## 日比谷フェスタ

「グローバルフェスタ JAPAN2006」が、去る9月30日(土)と10月1日(日)の両日、日比谷公園で開催され、PHJも参加しました。今年はタイ、インドネシア、カンボジアから現地活動で使用している道具や、ワークショップで配布している保健医療に係わるチラシやテキスト等も展示したので、将来医療分野に進みたいといった若い人たちがPHJブースに足を止めて熱心に説明を聞いてくれました。イベントを通して「国際協力と貢献」について考える一日ではなかったかと思えます。



## むさしの国際交流まつり

11月11日(土)に武蔵境のスイングビルにて“2006年むさしの国際交流まつり”が開催されました。当日は、生憎の雨模様で朝方は来場者が少なく静かでしたが、昼前より来場者も増えにぎやかになりました。今年はPHJのブースが入口に入って直ぐの場所にあったこともあり、活動状況の写真や説明の展示に熱心に質問される方も多く、PHJ紹介の機会に役立ちました。



発行：ピープルズ・ホープ・ジャパン / 発行責任者：須見 彰 / 編集人：三木 巖 / 発行日：2007年1月5日

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32 TEL：0422-52-5507 FAX：0422-52-7035

E-mail：info@ph-japan.org インターネットホームページ：http://www.ph-japan.org

## 今日からあなたも地球人 個人会員・ホープパートナー会員募集中!

FAX 0422-52-7035

ピープルズ・ホープ・ジャパン 行

個人会員申込書 会費3,000円/年・口×  口 =  円/年

ホープパートナー会員申込書 会費3,000円/月

の中にチェック☑を入れて下さい。

ふりがな

氏名

電話

自宅住所 〒

勤務先

電話

お申込みは、郵送、FAX、ホームページなど、どのような方法でも、結構です。後程送金方法を連絡させていただきます。